リレー随想 239

若者と結婚

加藤朝雄（古津・50歳）

「男・女・子ども」という字句を見たとき、何を連想するかは多種多様であろう。実はここに不安な想いを抱く人間がいる。その想いとは、「近い将来、日本人は滅びてしまうだろう」という危惧だ。

どうしてそうなるのか。ノストラダムスでなくても予言できる。日本の若者が結婚しない時代になったということを見据えれば、一目瞭然であろう。現代の女性は家事・育児よりも、自立して職業に就く方に興味を持ち、結婚を遠ざけるようになった。これが結婚不成立の大きな要因かもしれない。結婚相手を選ぶ条件が厳しくなりすぎていることもあげられよう。とにかく、結婚しないことで子どもの数は減る一方。保育所や学校は縮小するばかり。仕事の後継者がいないなどは序の口で、各家庭のあとつぎさえどんどんいなくなっているのが現実である。

必然的に総人口は減り、将来は、農山村の過疎化どころか、ゴーストタウンも出現しかねない勢いである。新津市の人口は今のところ横ばいであるが、中身を見ればこの傾向にあることを否めない。あとウン十年経つと人口は大幅に減り、人間が住んだと思われる建物の物跡だけが残るだろう。これに歯止めをかけるには、若者の精神構造を変える以外にない。中年が近くなっても独身生活を謳歌している諸君！結婚したまえ。男と女は家庭を築き、子どもをもうけるのが自然である。

あらゆる生き物は、子孫繁栄のために自分の生命を尽くしているではないか。人間だけが、先祖から子孫に至る生命の営みを無視してよいはずがない。自分の事だけを考え、子孫や次代と無関係に生きる人が蔓延すると、その人たちが老齢化して死に絶えたあとに残るのは何か。恋愛に憧れ、出て来きもしないプリンスの求婚を待ち、結婚しないかもしれない症候群に蝕まれている乙女たちよ。自分の命に目覚めて母親になってほしい。これが、まともらない縁談に気をもむ者の随想である。

このバトンを川口の石崎芳郎さんにリレーします。

にいつの宝さがし ⑩

茶畑（田家～秋葉の丘陵）

田家の集落を抜けてゴルフ場へ向かう道の右側一帯に、今でも茶畑を見ることができます。

紹介者の原さんによると、「新津のお茶は、江戸時代に桂家７代目慎吾誉重が宇治から移植した」という由緒あるものだそうです。県内では村上が北限のお茶どころとして知られていますが、最盛期にはそれに次ぐものとして名も高かったといわれています。

年々さびれる一方ですが、新津の歴史を語るうえで欠かすことのできない宝の一つです。

紹介者　原寛さん（横越村）

新津市の人口

男	31,558（－11）	2月29日現在
女	33,957（－5）	（ ）内は前月比
計	65,515（－16）	
世帯数	18,137（＋7）	

2月中の動き

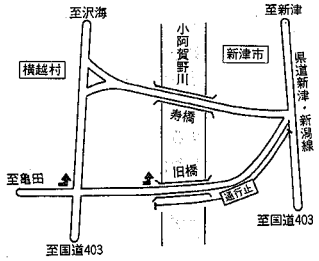
出生 44　死亡 56　転入 96
転出 100　結婚 8　離婚 5

寿橋が開通ー＊

4月3日から通行できます

中野地内で工事が進められていた寿橋がこのほど完成し４月３日（金）の午前６時から通行できます。

なお、これに伴い旧橋は通行止めとなりますので、ご注意ください。



パート職業センターを開設＊

四月から、本町二番館内の高年齢者職業相談室に、「新津市パート職業センター」が併設されました。

パート就労の情報窓口として、お気軽にご利用ください。

□開設時間…平日は、午前9時～午後4時。土曜日は午前9時～正午（第2・第4土曜日は休みます）

□業務内容…求職の受け付け、職業相談、求人者への紹介・あっせんなど

□ところ…本町二番館（母子センター入口右側）

□問い合わせ

新津市パート職業センター（☎24－8386）またはハローワーク新津（☎22－2233）へ。

お買物、ご用命は市内で

新しい畳の上でおくつろぎ下さい

品質保証付

新畳 14,000円
表替 8,000円（各税別）

●当方が自信を持っておすすめする品物です

河太郎会館様
勇寿司様
あじ新様

●新津畳協同組合加盟店で畳替をお手伝い致しました。

新津畳協同組合
☎22－7923